



本庄市議会だより



写真タイトル **「マリーゴールドの丘公園と星」**

撮影者：松竹正幸さん 撮影場所：マリーゴールドの丘公園

今年度は表紙写真の公募を行いました。

おもな内容

- | | ページ |
|-----------------------------------|-------|
| ◎第4回定例会の概要、おもな案件、議員提出議案、委員会のうごき … | 2～3 |
| ◎市政に対する一般質問 …………… | 4～10 |
| ◎提出議案とその結果 …………… | 10～11 |
| ◎新議員21名が決まる、3月定例会の予定等…………… | 12 |

条例改正、補正予算など34議案を審議



令和3年第4回定例会（12月定例会）を、11月25日（木）から12月21日（火）までの27日間の会期で開催しました。
 今定例会には、市長から条例制定・一部改正、令和3年度補正予算など25議案が提出されました。また、議員からは条例の一部改正の2議案の提出がありました。
 慎重審議の結果、閉会中の継続審査となっていた令和2年度決算認定関係の7議案を含む計34議案を原案のとおり可決、認定、承認、同意しました。

おもな案件

- ◆ **本庄市緑の基本計画審議会 条例を廃止する条例**
 本庄市緑の基本計画の策定が完了したことに伴い、本庄市緑の基本計画審議会を廃止するための条例の廃止です。
- ◆ **本庄市の市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例**
 市長、副市長及び教育長の期末手当について、一般職員の期末手当と同様に年間0・15月分の引下げを行うための条例改正です。
- ◆ **本庄市一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例**
 人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告に準じ、一般職員の期末手当を改定するための条例改正です。
- ◆ **人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて**
 人権擁護委員法第6条第3項の規定により人権擁護委員候補者として、根岸和幸氏を推薦したいので、議会の意見を求めるものです。
- ◆ **令和3年度本庄市一般会計補正予算（第9号）**
 キヤッシュレス決済事業者と連
- ◆ **工事請負契約の締結について**
 本庄市民文化会館冷温水機更新工事請負契約を締結することについて、本庄市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものです。
- ◆ **専決処分の承認を求めることについて**
 新型コロナウイルスワクチン接種の接種率が想定以上となったことや3回目の接種に対応するための経費を追加するなど、歳入歳出それぞれ6241万3000円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ296億269万7000円とする令和3年度本庄市一般会計補正予算（第8号）を専決処分したことについての報告及びその承認を求めるものです。



本庄市民文化会館

携し前年度実施したポイント還元キャンペーンは消費活性化策として一定の効果があつたことから、第3弾として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、令和4年2月1日から28日までポイント還元キャンペーンを新たに実施するなど、歳入歳出それぞれ2245万2000円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ296億2514万9000円とするものです。

◆ **令和3年度本庄市一般会計補正予算（第11号）**
 次年度以降の公共施設の整備等に対応する財源確保のための基金の積み立てや、新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種に向けた対応及びマイナナンバーによる新型コロナウイルスワクチン予防接種情報の連携に向けたシステム改修など、歳入歳出それぞれ14億7919万2000円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ316億6552万8000円とするものです。

◆ **本庄市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例**
 本庄市議会基本条例の見直し手続に合わせ、市の工事等の遵守事項を整理するための条例改正です。

議員のアンケート

12月定例会における各委員会の審査内容について主なものを紹介します。

○ **総務常任委員会**
 第80号議案
 工事請負契約の締結について
 工事に係る本庄市民文化会館の休館予定などについて質疑しました。付託議案6件について、すべて可決すべきものと決しました。

○ **建設産業常任委員会**
 第84号議案
 令和3年度本庄市一般会計補正予算（第11号）
 本庄駅北口周辺まちなかウォークアップ推進調査業務委託に係る社会実験の具体的な内容などについて質疑しました。付託議案5件について、すべて可決すべきものと決しました。

◆ **令和3年度本庄市一般会計補正予算（第10号）**
 令和3年11月19日に閣議決定された経済対策として、児童手当の所得制限を超える世帯を除き、0歳から高校3年生までの子どもがいる世帯に子ども1人当たり5万円を支給するため、歳入歳出それぞれ5億6118万7000円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ301億8633万6000円とするものです。



議員提出議案

12月定例会では、議員から2議案が提出され、原案のとおり可決しました。
 ◆ **本庄市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例**
 議員に支給する期末手当について、減額する措置を講ずるための条例改正です。

○ **厚生文教常任委員会**
 第84号議案
 令和3年度本庄市一般会計補正予算（第11号）
 雉岡城跡公園維持管理事業に係



雉岡城跡公園

◆ **17号バイパス及び幹線道路整備対策特別委員会**
 国道17号バイパスの早期整備のため、大宮国道事務所を訪問し、要望活動を実施しました。また、財務省及び国土交通省に対しては要望書を郵送しました。

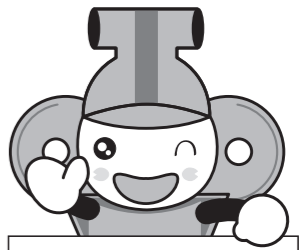


要望活動の様子

◆ **交通政策及び観光政策特別委員会**
 衆議院第二議員会館にて小泉龍司衆議院議員と面会し、JR東日本への要望活動について、意見交換等を行いました。

12月定例会のうごき

- 11月25日 本会議
 - ▼ 会議録署名議員の指名
 - ▼ 会期の決定、諸報告
 - ▼ 継続審査案件の決算特別委員長報告・質疑・討論・採決
 - ▼ 議員提出議案の上程・採決
 - ▼ 市長提出議案の上程・説明
- 11月29日 本会議
 - ▼ 議案に対する質疑・一部議案の即決
 - ▼ 市長提出追加議案の上程・採決
 - ▼ 計数整理
 - ▼ 議案の常任委員会付託
- 12月1日 常任委員会
 - ▼ 総務常任委員会
 - ▼ 厚生文教常任委員会
- 12月2日 常任委員会
 - ▼ 建設産業常任委員会
- 12月6日 特別委員会
 - ▼ 交通政策及び観光政策特別委員会
- 12月7日 特別委員会
 - ▼ 17号バイパス及び幹線道路整備対策特別委員会
- 12月15・16・17日 本会議
 - ▼ 一般質問
- 12月21日 本会議
 - ▼ 諸報告
 - ▼ 各特別委員長報告・採決
 - ▼ 各常任委員長報告・採決
 - ▼ 議員提出議案の上程・採決
 - ▼ 閉会中の継続審査



一般質問

ここがポイント! そこが聞きたい!!

本庄市の
バリアフリー化について
公明党代表 清水 静子

問 2018年5月と2020年5月にバリアフリー法が改正された。本市のバリアフリー化促進を図るマスタープラン作成に当事者やその家族の意見を聞く、また当事者が参画するのはどうか。次に体育館や文化会館などで活動しやすくするために障がい者割引が必要と考えるがどうか。合わせて、デジタル障がい者手帳アプリ「ミライロID」を導入してはどうかお考えを伺う。

答 様々な関係者の意見を反映したマスタープランとするため、利用者、有識者、公共交通事業者、地元自治会などの方々から意見をいただく場として「本庄市移動等円滑化促進方針策定協議会」を設置しています。現地確認の場では、この協議会の委員に加え、車椅子利用者や視覚障害者の参加も想定しており、マスタープランの策定は、高齢者や障害者の方々と

意見交換を十分に行い、また介護者の方々のご意見を踏まえながら進めていきます。障害者対象の利用料金の割引は、本市管理の公共施設では老人福祉センターつきみ荘のみで、その他では、はにぼん号・もといずみ号、はにぼんシャトルで実施しています。利用料金の割引は、施設全体を対象として検討する必要がありますと考えており、今後、その趣旨や意義を明確にし、対象施設や割引額等、他市の状況等も踏まえ検討していきます。また「ミライロID」は、はにぼん号などで活用していますが、こうした検討と併せて、導入についても検討を進めたいと考えています。

【その他の質問】
・奨学金の返還支援について
・給食費について



障がい者手帳アプリ

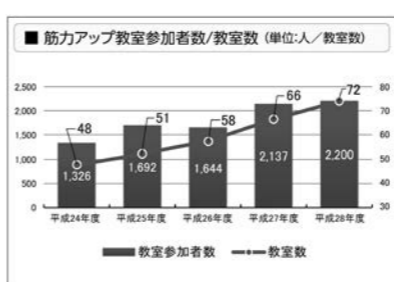
本庄市の
高齢者福祉について
市議団未来代表 巴 高志

問 我が国は、国民の4人に1人が65歳以上という超高齢化社会を迎えています。2060年には約2・5人に1人が65歳になる推計です。高齢者福祉は、高齢者が敬愛され、生きがいをもって健康で安心した生活を送れるよう社会全体で支えることを目的に老人福祉法のもと発展しています。これからの急速な高齢化に対する施策としてどのように対処していく予定ですか。

答 高齢化の急速な進行に伴い高齢者の権利擁護、虐待防止など様々な課題への対応が求められています。市では、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で生活できるように地域包括ケアシステムのさらなる深化と地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進を基本方針とした本庄市第9次高齢者福祉計画を策定しました。団塊の世代さらには団塊ジュニア世代が65歳

以上になる2040年を見据えた中長期的な見通しの計画です。地域包括ケアシステムは介護や医療が必要になった際に、予防、医療、生活支援、住まい、介護が一体的に提供される仕組みで、その整備充実に向けて推進を図っています。市内に4か所ある地域包括支援センターは地域包括ケアシステムの拠点であり、高齢者を支える身近な相談窓口として専門職からアドバイザーや支援を受けることができます。今後もさらに地域の特性を踏まえた支え合いのネットワークを構築し、地域共生社会の実現を目指していきます。

【その他の質問】
・本庄市の子ども・子育て支援について
・本庄市の公共施設の維持保全について



筋力アップ教室参加者数/教室数

令和3年度
施政方針について
自由民主党
本庄クラブ代表 山口 豊

問 現在も収まりのない未曾有の感染症コロナウイルスにより活動が制限され、従来の活動ができないこのような状況の中で、令和3年度施政方針において他市町村に比べ特に重点的な施策あるいは特徴的な施策をお伺いします。

答 まずは、新型コロナウイルス感染症への対応です。ワクチン接種は、市民の皆様にご協力いただき早く接種が受けられるよう努めてきました。3回目の接種は、その教訓も踏まえ、接種体制の整備に努めていきます。教育現場では、基本的対策としてのマスクや消毒等のほか、学級を分割したり、オンライン学習を組み合わせるなど、学校の実情に応じ、教育活動が継続できるよう対応しました。2つ目としては、塙保己一没後200周年記念事業です。公用車や市の発行物に一般公募で作成した記念ロゴマーク

を掲載してPRしたほか、郵便局のご協力により、市内110か所のポストにロゴマーク入りステッカーを掲示しました。また、広報の特集ページや塙保己一記念館での企画展、記念フレーム切手の発行など塙保己一没後200年の節目に様々な記念事業を行っています。

3つ目としては、オリンピック・パラリンピックへの取り組みです。本市ゆかりのアスリートが東京2020大会出場決定前から公共施設へのパネル展示や横断幕設置などで応援してきました。また、聖火リレーでは、世界最古の自転車機能とされる陸船車で運ぶなど本市の歴史的、文化的な魅力を国内外に発信でき、記憶に残るイベントになったと考えています。



令和3年度施政方針

本庄駅北口周辺
整備基本計画について
市議団大地代表 岩崎 信裕

問 本庄駅北口周辺地区は、長い年月、中心市街地として栄えてきた。しかし最近、諸般の事情により、空洞化し、居住者のみならず多くの市民の憂慮する所となっている。市では北口周辺のハード整備を伴う基本計画の策定に向け、パブリックコメントも終了、取りまとめの途上と伺っている。「本庄駅北口周辺整備基本計画」の概要、進捗状況についてお伺いしたい。

答 本庄駅北口周辺整備基本計画は、本庄駅を核とする約82ヘクタールの範囲で、基本方針に「まちに暮らし、まちを活かし、まちが息づく」を掲げています。その具現化に向け、「駅前街区整備」と「道路整備」を実施事業の柱としています。駅前街区整備は、駅前ロタリーを含む約2ヘクタールの範囲で少子高齢化が進むこの地区において、子供たちが

若者の声を新たな賑わいの象徴とし、子どもを含むあらゆる世代の方が駅前街区に暮らし、集うことを目標としています。

道路整備は、駅前街区を除く範囲で「まちの回遊を生む、歩いて暮らせる空間づくり」をコンセプトに、車中心の道路から歩行者と共存できる道路空間への転換や、店舗の増加も伴いながら、回遊する人流を生みだしつつ、賑わいの創出を目標としています。本計画は、パブリックコメントの結果を周知した後、今年度内に公表し、速やかに事業化に向けた検討業務に着手してまいります。まちの将来像と具体的な整備に言及した初めての計画なので、今後適宜、情報の開示、市民との意見交換をしながら着実に進めていきたいと考えています。



一般質問とは、市の行政事務の状況や将来の方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、定例会ごとに行われます。今定例会では15名の議員が質問を行いましたので、主なものの要旨を掲載いたします。なお、本文中の「見出し」及び「問」は、質問者自身が責任をもって作成したものです。詳しい内容は、会議録（2月下旬発行予定）を議会事務局、児玉総合支所、はにぼんプラザ、図書館、公民館及び市議会ホームページで閲覧することができます。
<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/honjo/pg/index.html>



本庄駅北口ロータリー

市の依頼で各自治会が申請する事柄について 富田 雅寿(市議団大地)

問 市の依頼で自治会が申請する事業で市民生活に直結することは多々ありますが、その中で3点お伺いします。じん芥収集所と防犯灯とカーブミラーは市民からの依頼等で自治会が市に申請するものですが、最近、今まで空き地だった土地に新しく住宅ができる所が急増しています。その必要箇所には、自治会申請でなく、市が業者に依頼するなどして設置できないでしょうか。

答 じん芥収集所は、地域住民の共同利用、ごみ排出の利便性を図るため、自治会と協議のうえ、約1200か所設置しています。新設等の多くは自治会からの申請で、候補地の選定に大変苦慮しており、最適な場所への設置は難しい状況です。やむを得ず市有地に設置の要望があった場合は、市の事務方針に基づきその可否を判断します。また、道路・歩道上の設

置については、通行に支障がないことを前提に認めており、危険な状況であれば、自治会と改善に向けて必要な対応を検討していきます。

防犯灯は、自治会が地域の要望を踏まえて設置・管理しています。このため、住宅を購入して転入等する市民からの設置要望は自治会に相談するよう案内し、自治会においても建築中の住宅があれば周辺状況の確認、設置の必要性の検討をお願いしています。カーブミラーを含む必要な交通安全施設は、できる限り速やかに、かつ的確に整備し、関係団体等と連携して地域の実情に応じた効果的な交通安全対策を推進していきます。



カーブミラーとじん芥収集所

問 限られたリソースを最大限活かすため、市役所の業務を大きくシンカさせる時です。部課を超えた連携により①ご遺族の方の手続きは市役所内で9課あり何度も窓口へ行き説明をし書類を出すのを1回で済むように②多岐にわたる目標SDGs達成の取組みをさらに推進③イルミネーション事業を魅力あるものに改革改善しませんか。また、若手職員が改革改善を提案しやすい環境が伺います。

答 ご遺族の方の手続きの利便性を良くするために、総合窓口という考え方があります。以前から研究・検討をしているところですが、現状では総合窓口の実現には至っていません。SDGsの本市の取り組みとして、令和2年3月策定の「本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、各施策とSDGsのアイコンを紐づけました。市長をはじめ

部や課を横断した取組みで市民ニーズに応え魅力ある市へ 内田 英亮(市議団大地)

全部局長等から構成される「本庄市まち・ひと・しごと創生本部」を設置して、部や課を横断した取り組みの推進を図っています。

マリーゴールドの活用について、今後より良くしていくための庁内のプロジェクトの予定は現状ではありません。若手職員が積極的に取り組める環境として、部門横断的な取り組みに対する人事評価があるかどうかについては、例えば、プロジェクト業務に参加する場合、本来業務とプロジェクト業務の職務遂行に発揮した能力を、その職位に期待される水準に照らして総合的に判断し評価します。



問 近年、人口減少に加えてコロナ感染症の影響など市民税が大幅に減少すると予想されます。健全な財政運営を維持するためには自主財源の確保が求められます。自主財源の根幹をなす市民税等の収納率の向上のために目標値の設定、自動販売機の入札制度の導入、未利用地の活用、ネーミングライツ制度を企業に理解してもらうための努力と工夫など、それぞれの現状についてお聞きします。

答 市税等の目標値の設定に関しては、前年度の収納率や収納額を上回るように、あるいは前年度の収入未済額を下回ることを目標として徴収に向けた努力をしています。自動販売機の入札による設置は競争性が働く有用な方法と考えており、庁舎やほにぼんプラザ等の需要の高い施設を中心に入札による設置をしています。一方、設置経緯や

自主財源の確保について 高橋 和美(市議団大地)

全世代における衛生用品の無償提供事業について 堀口 伊代子(市議団未来)

問 ①0歳児におけるおむつの無償提供について②「生理の貧困」が問題となっている。小中学校のトイレへの生理用品の常設について③防災備蓄品の生理用品を無償配布しているが周知と検証について④要介護4と5の認定者で家族による在宅介護を受けている方のみ紙おむつの無償配布サービスを行っているが、入院・特定の入所施設以外の要介護認定者へのサービス拡大について伺う。

答 本市では、現金支給の経済的支援策を様々行っており、おむつの無償提供の必要性は、その意義、目的や事業効果を踏まえ研究していきます。学校のトイレに生理用品を常設することは衛生面等に課題があり、また児童生徒の小さな変化に気づき対応することができないため保健室で配布しています。防災備蓄品の生理用品は、市ホームページ

高齢者や障害者の方が安心して利用できる歩道について 矢野間 規(市議団未来)

問 高齢者の方々の移動手段も自動車から、徒歩や自転車へ変更する方も増えている中、高齢者や障害者が安心、安全に通行できるように、市内の歩道のバリアフリー化についてどのように考えているのか。また、本庄駅南口にある、市道第230号線及び第231号線は、車道と歩道の段差が大きく、非常に危険であり、早急な改善が必要と考えるが、市の見解を伺う。

答 現在は、道路の新設や拡幅工事において、歩道を設置する場合は、原則としてバリアフリー対応である車道と歩道の段差が5センチメートル程度のセミフラット形式の歩道を採用しています。今後も歩道のネットワーク、利用形態など必要性を十分に勘案したうえで、新たな歩道の整備や改良をする際は、原則としてセミフラット形式での歩道整備を進めていき



ネーミングライツ第2号



【その他の質問】
まちの活性化のための観光事業の強化について



車道と歩道の段差の大きい、危険な歩道

本庄総合公園および
周辺整備について

梗田 平一郎(市議団未来)

問 本庄総合公園の今後の整備計画と現在取り組まれている進捗状況について伺います。また隣接する県道花園本庄線との接続について、駐車場との出入りが危険を及ぼさないか心配される。安全への対処について伺います。また本庄総合公園北側の市道と県道花園本庄線を南北につなぐ道路の計画要望が地元自治会から出されていたが、今後の整備予定について伺います。

答 本庄総合公園の整備は、県道からの新たな出入口と、調整池を兼ねた駐車場等の整備を行い、水遊び場や拡張予定地の整備等を皆様からのご意見を伺いながら進めたいと考えています。また、ご要望が多かったわんぱーく内のトイレの新築工事は、今年度中に完成予定です。県道花園本庄線と本庄総合公園の入口部分の接続については、形状等の検討を行います。



本庄総合公園の「わんぱーく」

【その他の質問】
・企業誘致について
・本庄児玉IC周辺及び国道254号迄の道路整備について

防災拠点としての
道の駅構想について

山田 康博(市議団未来)

問 国道17号バイパス本庄道路完成の進捗状況を鑑み、近年の異常気象や地震による防災・減災の意識の高まり、農業振興・観光政策など本市の魅力を最大限に発信する拠点として防災機能をもち「道の駅」の開設計画について議論をスタートするべきと考えるが見解を伺う。併せて広域防災拠点としての機能や地域連携に関して象徴的な施設と考えるが見解を伺う。

答 道の駅は、国土交通省の登録を受け道路利用者のための休憩機能のほか情報提供機能、地域連携機能を併せ持つ施設です。地域の特性を生かした地域振興施設を併設することで、地元のブランド力の向上や発信に大きく寄与し、本市の誇る本庄野菜に付加価値をつけることも期待できると考えます。国道17号本庄道路の整備が着々と進められており、道の



【その他の質問】
・本庄駅北口周辺整備基本計画策定について

新型コロナワクチン
接種について

門倉 道雄(市議団未来)

問 3回目接種について、どのように実施されるのか伺う。予約の電話がつかない、インターネット予約がわからない等これが市民の声だ。医療従事者の次は65歳以上だ。前回の接種事業をどう総括し改善されたのか伺う。順次満12歳の誕生日を迎える子ども達がいる。また接種した場所でワクチンが異なる。私は「交互接種に」と考えるが、本市には国からいかなる情報が来ているか伺う。

答 3回目の新型コロナワクチン接種は、国から対応方針が示されています。接種未完了者の接種機会の提供を継続するとともに、全ての2回目接種完了者に3回目接種の機会を提供するとし、まずは18歳以上の方を特例臨時接種に位置付けています。3回目接種に使用するワクチンは、1・2回目の種類に関わらず、mRNAワクチンが適当としています。



保健センター

本市においては、3回目の接種券を医療従事者に対して11月に、一般市民を対象に1月から順次発送します。前回は一斉発送でしたが、今回は対象者に順次発送するので、予約枠を調整して混乱を生じないように準備しています。今後11歳以下の接種も予定されていますが、まだ薬事承認前であり、実施の際は国・県の指示に基づき十分な体制のもとに進めていきます。また、異なるワクチンの接種に関しても国の十分な説明がなく、市民が安心して接種するにはまず国からの丁寧な説明が必要であると考えています。本市は全希望者が安心して接種できるように、今後の予約接種体制の整備に努めます。

【その他の質問】
・GOTO本庄について

答 本市では、平成30年度と令和2年度に市内全域を対象として、空き家等実態調査を実施しています。その結果、平成30年度に1,706戸、令和2年度に1,934戸の空き家を確認し、2年間で228戸増加していることが判明しました。また、空き地については、様々な形態があり、実態調査が困難であるため、空き地そのものの件数は把握していません。



空き家

「空き家除却補助金」は、令和2年10月から要件を緩和しました。年間5、6件程度の交付実績でしたが、改正後は半年間で35件の交付実績があり、令和3年度も11月末現在で28件の交付を予定しています。本市には空き家や空き地に対する様々な苦情や情報が寄せられます。その対応としては、職員が速やかに現地確認を行い、必要に応じて所有者や相続人等に対して書面等により改善を求める指導等を行ってまいります。今後も、空き家や空き地対策に取り組み、管理不全の物件の解消を図るとともに、利活用等についても推進を図ってまいります。

【その他の質問】
・いじめの現状と防止対策について

答 駅前街区整備の検討範囲内には個人でお住まいの世帯は3世帯で、土地を所有している市内企業は5社、市外企業は2社あります。計画策定後に具体的な検討を進めることから、現時点では予算規模を確定する前提条件がそろっておりません。今後、事業実現に向けたスケジュールや課題を検討のうえ、事業手法等について精査するなど、より具体的な内容について検



計画案の駅前街区の整備イメージ

【その他の質問】
・小規模企業振興条例の制定について

令和3年第4回定例会 提出議案とその結果(つづき)

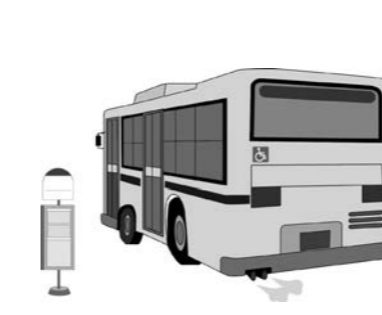
(賛成：○ 反対：× 棄権：棄 欠席：欠)

議案番号	件名	議席番号	議決結果																			
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
第77号議案	本庄市消防及びつづ金及び殉職者特別賞及びつづ金条例及び本庄市消防協力援助者賞及びつづ金及び殉職者特別賞及びつづ金条例の一部を改正する条例 ・既存の附属機関等の設置根拠等の見直しに伴い、本庄市消防及びつづ金等審査委員会の設置についての規定を追加するもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第78号議案	本庄市国民健康保険条例の一部を改正する条例 ・健康保険法施行令等の一部を改正する政令による健康保険法施行令の一部改正に伴う出産育児一時金の支給額の改正をするもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第79号議案	本庄市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例 ・行政手続の簡素化及び申請者の利便性向上を図るため、押印の見直しを行うもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第80号議案	工事請負契約の締結について【P2】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第81号議案	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて【P2】	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第82号議案	専決処分承認を定めることについて【P2】	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第83号議案	令和3年度本庄市一般会計補正予算(第9号)【P2、3】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第84号議案	令和3年度本庄市一般会計補正予算(第11号)【P3】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第85号議案	令和3年度本庄市国民健康保険特別会計補正予算(第2号) ・第76号議案により一般職職員の期末手当等を減額するため、歳入歳出それぞれ64万3千円を減額し、総額を歳入歳出それぞれ79億1352万3000円とするもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第86号議案	令和3年度本庄市国民健康保険特別会計補正予算(第3号) ・過年度の県支出金の実績確定による返還金など、歳入歳出それぞれ2309万3000円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ79億3661万6000円とするもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第87号議案	令和3年度本庄市介護保険特別会計補正予算(第2号) ・第76号議案により一般職職員の期末手当等を減額するため、歳入歳出それぞれ118万5000円を減額し、総額を歳入歳出それぞれ63億3516万5000円とするもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第88号議案	令和3年度本庄市介護保険特別会計補正予算(第3号) ・支給実績により負担金が不足が見込まれるための追加など、歳入歳出それぞれ1億3021万7千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ64億6538万2千円とするもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第89号議案	令和3年度本庄市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) ・債務負担行為の設定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第90号議案	令和3年度本庄市水道事業会計補正予算(第3号) ・第76号議案により一般職職員の期末手当等を減額するため、収益的支出、資本的支出、議会の議決を経なければ流用することのできない経費の補正をするもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第91号議案	令和3年度本庄市水道事業会計補正予算(第4号) ・債務負担行為の追加	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第92号議案	令和3年度本庄市下水道事業会計補正予算(第2号) ・第76号議案により一般職職員の期末手当等を減額し、また、それに伴う一般会計からの補助金を減額するため、収益的収入、収益的支出、資本的収入、資本的支出、議会の議決を経なければ流用することのできない経費、他会計からの補助金を補正するもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第93号議案	令和3年度本庄市下水道事業会計補正予算(第3号) ・債務負担行為の追加	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第94号追加議案	令和3年度本庄市一般会計補正予算(第10号)【P3】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案	議第5号議案	本庄市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例【P3】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案	議第6号議案	本庄市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例【P3】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※第94号追加議案が第84号議案に先立って議決されたことから、議長が計数整理を行い、第84号議案の補正予算の番号が「第11号」となり、第94号追加議案の補正予算の番号が「第10号」となりました。

問 人口減少の中で、公共交通のエリア縮小やサービス水準の低下が懸念されている。一方で、公共交通は地域の活力を維持、強化するためには、そのニーズを正しく把握する事が求められる。民間バスの路線変更やルートの見直しを考えた時に、市はバス会社とどのような協議を行うのか。また、通学バスとして使っているバスに、免許返納者や乗せるなど、その目的変更の可能性について伺う。

答 路線バスの路線延伸等のルート見直しを行う場合、埼玉県、関東運輸局、交通事業者等で構成される埼玉県生活交通確保対策地域協議会で協議を整えたうえで、陸運局へ届出を行うこととされています。採算性や安全面等が優先されるため、市からの要請でも必ず実現するとは限らない現状ですが、路線バスは市民にとって貴重な移動手段のため、バス事業者と最



善策を考えていきます。本泉地区から秋平小学校に通う通学バスは、通学用として運行ルートを指定し委託契約しているため、現時点では児童以外の乗車は難しいですが、議員ご提案の免許返納者の乗車は地域の多様な輸送手段を最大限活用する1つの方策となり得ると考えています。令和4年度には総合交通計画の見直しを予定しています。路線バスを含めた公共交通ネットワークの再点検を行い、アンケート等を通じ人の流れや行動、ニーズ等を分析し、多様な輸送資源の洗い出しや活用に向けた方向性についても検討していきたいと考えています。

【その他の質問】
・コロナ禍での市議会議員選挙について

令和3年第4回定例会 提出議案とその結果

(賛成：○ 反対：× 棄権：棄 欠席：欠)

議案番号	件名	議席番号	議決結果																			
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
第63号追加議案	令和2年度本庄市一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第64号追加議案	令和2年度本庄市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第65号追加議案	令和2年度本庄市住宅資金貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第66号追加議案	令和2年度本庄市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第67号追加議案	令和2年度本庄市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第68号追加議案	令和2年度本庄市水道事業会計の利益の処分及び決算認定について	原案可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第69号追加議案	令和2年度本庄市下水道事業会計の利益の処分及び決算認定について	原案可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第70号議案	本庄市老人ホーム入所判定委員会条例 ・既存の附属機関等の設置根拠等の見直しに伴い、本庄市老人ホーム入所判定委員会に関し必要な事項を定めるための条例制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第71号議案	本庄市廃棄物減量等推進審議会条例 ・既存の附属機関等の設置根拠等の見直しに伴い、本庄市廃棄物減量等推進審議会に関し必要な事項を定めるための条例制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第72号議案	本庄市緑の基本計画審議会条例を廃止する条例【P2】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第73号議案	本庄市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例 ・行政手続の簡素化及び申請者の利便性向上を図るため、押印の見直しを行うこと等による所要の改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第74号議案	本庄市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 ・既存の附属機関等の設置根拠等の見直しに伴う所要の改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第75号議案	本庄市の市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例【P2】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第76号議案	本庄市一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例【P2】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

3月定例会の予定

2月25日(金)10:00～	本会議(議案説明)
3月1日(火)10:00～	本会議(議案質疑)
3月3日(木)9:30～	総務常任委員会・厚生文教常任委員会
3月4日(金)9:30～	総務常任委員会・厚生文教常任委員会
3月7日(月)9:30～	建設産業常任委員会
3月8日(火)9:30～	建設産業常任委員会
3月18日(金)9:30～	本会議(一般質問)
3月22日(火)9:30～	本会議(一般質問)
3月23日(水)9:30～	本会議(一般質問)
3月25日(金)10:00～	本会議(議案採決)

※会議の日程は、議事の都合により変更になることがあります。

インフォメーション

▶本会議のライブ中継・録画配信◀

○本会議の全日程をライブ中継及び録画配信でご覧いただけます。また、録画配信では、過去5年分(令和2年6月定例会以前は一般質問のみ)をご覧いただけます。

★本会議のライブ中継・録画配信のアドレス
https://smart.discussvision.net/smart/tenant/honjo/WebView/rd/council_1.html
 ※スマートフォンでもご覧いただけます。



▶傍聴のお知らせ◀

【本会議を傍聴される方】

本会議は、上記のとおり一般質問の日は午前9時30分に、それ以外の日は午前10時に開会予定です。傍聴を希望される方は、議会事務局で傍聴の手続きを行っていただき傍聴席にご入場ください。
 ※ヒアリング(磁気)ループもございますので、お声がけください。

【委員会を傍聴される方】

委員会は、通常、午前9時30分に開会します。当日の委員会開会5分前までに議会事務局で傍聴の手続きを行ってください。各委員会の定員は3名で、定員を超えた場合は抽選により決定いたします。

※発熱、せきなど、体調不良の方は、傍聴をご遠慮ください。

新議員21名が決まる

2月4日で任期満了となる本庄市議会議員の一般選挙が1月30日に行われ、新議員21名が決まりました。

任期は令和4年2月5日から4年間です。

※立候補届出順

※年齢1月30日現在

氏名(年齢)

小林 猛(72)
矢野間 規(44)
栗田 弘志(60)
柿沼 光男(74)
山田 康博(54)
堀口伊代子(55)
内田 英亮(33)
柿沼 綾子(69)
巴 高志(68)
倉林 益代(61)
富田 雅寿(60)
山口 豊(52)
林 富司(85)
谷田 裕之(56)
広瀬 伸一(50)
小賀野 健司(69)
清水 静子(55)
早野 清(72)
高橋 和美(72)
門倉 道雄(61)
粂田平一郎(70)



編集後記



本庄市議会としては合併後の4期目の4年間が終わります。将来の本庄市を見据え、4年間で様々な視点から一般質問を行いました。今後も、今なお直面する新型コロナウイルス対策をはじめ様々な市政の課題の解決に向け、そして魅力ある本庄市として次の世代に受け継げるよう議論を重ねてまいります。

引き続き、市議会だよりでは、議会で交わした議論の内容を読みやすく、わかりやすく伝えられるよう努めてまいります。

広報広聴委員会

議会報編集部会

部長 堀口伊代子

副部長 清水静子

部長 内田英亮

副部長 矢野間規

部長 山田康博

副部長 山田豊

部長 門倉道雄

副部長 富田雅寿

この市議会だよりは、2月4日までの部会委員で編集しました。